

# 記 載 要 領

## 1. 履歴書

- (1) 学歴欄には、高等学校卒業以降について記入してください。研究生、専攻生、海外留学等は職歴・研究歴欄に記入してください。
- (2) 学位については、取得年（西暦）月日、登録番号及び大学名を記入してください。
- (3) 看護師免許等は取得年（西暦）月日・登録番号を記入してください。
- (4) 職歴・研究歴欄には、職歴と研究歴を区別しないで年代順にその期間（年・月）、所属及び職名（配属部門と職位を付記）を記入してください。  
また、外国留学、外国出張は2ヶ月以上のものに限り記入してください。  
※記入例：2001年4月～2009年9月 ○○大学医学部附属病院手術部看護師長
- (5) 賞罰欄には、学会賞などの受賞についても記入してください。

## 2. 業績目録

- (1) 著書、原著、症例報告、総説、学会発表、所属学会及び研修歴等に分け、それぞれ欧文と和文に大別し、近著から年代順に配列してください。
- (2) 学会発表については、国内学会は、一般発表を除く特別講演、教育講演及びシンポジウム等のみ記入してください。国際学会は、一般発表を含んでください。但し、自演者分のみとし、最近の発表から年代順に配列してください。  
また、項目の末尾に特別講演、教育講演、シンポジウム等の別を括弧書きで記入してください。
- (3) 著書、原著、症例報告、総説及び学会発表とも、著者・発表者が複数の場合には、その全員の氏名を発表記載順に記入し、本人名にアンダーラインを付してください。
- (4) 原著には審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限ります。
- (5) 所属学会については、役職名及び認定資格等を記入してください。

## 3. その他

- (1) 様式は、和歌山県立医科大学ホームページからダウンロードできます。
- (2) 提出書類は、すべてA4用紙（縦）を用い、様式右上に通し番号を付してください。

## 業績目録記載例

番 号	著書、原著、症例報告、総説、学会発表、所属学会及び研修歴等
<b>(1) 著 書</b>	
※記入事項 (単著) 著者、書名、総頁、発行所、発行地、発行年 (共著・分担執筆) 著者名、分担題目、書名、編者名、初頁～終頁、発行所、発行地、発行年	
1	(単著) <u>華岡太郎</u> : 「 <u>卵巣の内分泌学</u> 」 総406頁、診断と治療社、東京、1995
2	(分担執筆) Herman R, Freedman W, Monster AW and <u>Hanaoka T</u> : A systematic analysis of myotatic reflex activity in human spastic muscle. In “New Development in Electromyography and Clinical Neurophysiology” (Ed.) Desmedt JE, pp 556-578, S Karger, Brussels, 1994
<b>(2) 原 著 ・ 総 説</b>	
※記入事項 著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年	
1	<u>華岡太郎</u> 、和歌浦花子 : 糖尿病患者の色覚異常について. 糖尿病 33: 675-680, 1993
2	<u>Wakaura H</u> and <u>Hanaoka T</u> : Sensory response of cortical neurons in the anterior ectosylvian sulcus, including the area evoking eye movement. Brain Res 575: 181-186, 1996
<b>(3) 学 会 発 表</b>	
※記入事項 発表者名、演題名、学会名、場所、年 (発表形態)	
(国際学会)	
1	<u>Hanaoka T</u> , Saika M and Minakata K: Expression and regulation of neuropeptides in rat facial motoneurons. VII International Symposium on Facial Nerve, Cologne, Germany, 19-92 (シンポジウム)
2	<u>Hanaoka T</u> , Saika M and Minakata K: Halothane constricts mesenteric artery transiently by releasing Ca <sup>++</sup> from the sarcoplasmic reticulum. Annual Meeting of American Society of Anesthesiology, New Orleans, USA, 1992 (一般発表)
(国内学会)	
3	<u>華岡太郎</u> : Dynorphin(1-13)のモルヒネ鎮痛と耐性形成におよぼす影響. 第6回鎮痛薬オピオイドペプチドシンポジウム, 長崎, 1996 (シンポジウム)